

平成 27 年 4 月 3 日

各 位

上場会社名 ナノキャリア株式会社

代表者 代表取締役社長中富 一郎

(コード番号 4571)

問合せ先責任者 CFO 兼社長室長 松山 哲人

(TEL 03-3241-0553)

平成 27 年 3 月期通期業績予想の修正並びに営業外収益  
及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 2 月 24 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、下記のとおり営業外収益及び特別損失を計上する必要が生じたので、お知らせします。

記

●業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

|                              | 売上高 | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益  | 1 株当たり当期純利益 |
|------------------------------|-----|--------|--------|--------|-------------|
|                              | 百万円 | 百万円    | 百万円    | 百万円    | 円 銭         |
| 前回発表予想 (A)                   | 673 | △1,127 | △285   | △322   | △8.00       |
| 今回修正予想 (B)                   | 675 | △1,129 | △189   | △227   | △5.61       |
| 増減額 (B-A)                    | 2   | △2     | 96     | 95     |             |
| 増減率 (%)                      | 0.4 | —      | —      | —      |             |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 26 年 3 月期) | 472 | △1,123 | △1,094 | △1,113 | △30.44      |

(注) 当社は、平成 26 年 2 月 12 日に公表いたしました「株式分割、単元株制度の採用及び定款の一部変更に関するお知らせ」のとおり、平成 26 年 4 月 1 日を効力発生日として普通株式 1 株につき 100 株の割合をもって分割を行っております。そのため、前期実績における 1 株当たり当期純利益につきましては、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

修正の理由

売上高及び営業利益につきましては、前回発表の業績予想を概ね達成する見込みです。

経常利益及び当期純利益につきましては、前回発表の業績予想に比べ、それぞれ 96 百万円及び 95 百万円改善の△189 百万円及び△227 百万円となる見込みです。その主な改善理由は、外貨建て預金にかかる為替差益が想定よりも増加したことによるものであります。前回発表の際に想定しておりましたドル/円レートは 1 ドル 118 円でしたが、それ以降ドル高/円安が進行し、事業年度末の実際のドル/円レートは 120.17 円となりました。

●営業外収益（為替差益及び受取利息）の計上

当社は、平成27年3月期第3四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)において、為替差益939百万円を営業外収益に計上していましたが、平成27年3月期第4四半期会計期間（平成27年1月1日～平成27年3月31日）では、外国為替相場の変動による為替差損20百万円が発生したため、平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）においては、919百万円の為替差益を営業外収益に計上しております。これは、当社の保有する主に外貨建て預金の評価替えにより発生したものであります。

また、当社は、平成27年3月期通期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）において、受取利息33百万円を営業外収益に計上しております。これは、主に外貨建て定期預金にかかる利息であります。

●特別損失（固定資産の減損損失）の内容

固定資産減損損失 33百万円

平成27年3月期末における研究用分析機器等の減損処理によるものです。

(注) 業績予想については、現時点での入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、予想には不確定要素が内在しているため、今後の様々な要因により、上記業績予想数値が変更される場合があります。

以 上